

「第13回食品産業もったいない大賞」 応募申込書 ①

応募名称 取組内容が読み取れるタイトルを記載してください。			
取組開始 応募取組を開始した時期を記載してください。		☐ 昭和 ☐ 平成 ☒ 令和 2 年 4 月 頃 日	
取組内容を把握できるWebのURL		https:// www.ofsi.or.jp	
会社・事業場の業務内容 簡単に記載してください。		企業、個人などから託された食品と食品を求める事業所・施設等を結ぶ マッチング活動(フードバンク)を令和2年4月頃から実施しています。	
社名、事業所名 プレス発表の際に記載します。正確に記載してください。		フリガナ カブシキカイシャ ショクヒントウリュウツウゴウリカソクシンキョウ 株式会社 食品等流通合理化促進機構	
代表者役職・氏名		代表 ●● ●●	
会社・事業場所在地 都道府県から記載してください。		フリガナ トウキョウトチヨダクイワモトチョウ 〒 101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-5 第1東ビル6階	
担当者及び連絡先			
所属部署・役職	業務部	氏名	杉本 敏幸
E-mailアドレス		電話番号	ファックス番号
t.sugimoto@ofsi.or.jp		03-5809-2176	03-5809-2183
コンプライアンスに関する確認 必ずチェックを入れて下さい		☒ 法令違反の事実はない	
添付資料(提出書類にチェックを入れてください) もったいない大賞の応募には 本紙応募申込書①、②、 写真(取組内容が分かるもの)が必須です。		☒ 応募申込書 ① ☒ 応募申込書② ☒ 写真 ☐ 取組内容関係資料 ☐ 会社概要等	
業種・業態・活動 分類 該当する全ての 分類にチェックを 入れて下さい	☐ 1. 農林水産業者 ☐ 2. 食品製造業者 ☐ 3. 食品卸売(仲卸)業者 ☐ 4. 食品小売業者 ☒ 5. 外食・中食事業者 ☐ 6. 食品輸出入業者 ☐ 7. 食品関連事業者(電気 施設 装置 容器包装 輸配送等) ☐ 8. 地方自治体 ☐ 9. 大学・専門学校・高校等 ☐ 10. フードバンク ☐ 11. リサイクル事業者 ☐ 12. 個人 ☐ 13. 上記以外その他 ()		
もったいない大賞をどこでお知りになりましたか。(複数回答 可)			
☒ 1. もったいない大賞事務局(食流機構)からのDM ☐ 2. 農林水産省・農政局からの紹介 ☐ 3. 都道府県(公共団体)からの紹介 ☐ 4. 商工会 ☐ 5. インターネット ☐ 6. 商工会議所 ☐ 7. 食品産業協議会 ☐ 8. 農林水産企業環境対策協議会 ☐ 9. 食品リサイクル再生利用連絡会 ☐ 10. 所属する団体からの案内 () ☐ 11. その他 ()			
他薦の場合は下記に推薦者を記載してください。			
推薦者	会社等名		
	所在地		
	代表者役職	代表者氏名	
	電話番号	E-mail	

「第13回食品産業もったいない大賞」 応募申込書 ②

1. 具体的な取組の概要

※ 取組のどのような点が優れているのか具体的に記載してください。

【記載例】

- ◆ ○○の製造に伴い大量に発生していた△△(産業廃棄物名)を、●●大学との協力により開発した▲▲技術により、△△(産業廃棄物名)の減量に成功した。
- ◆ 発生した△△(産業廃棄物名)をメタン発酵によりガス化し、バイオマス発電を行い、工場内に供給。二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量を削減した。
- ◆ 製造工程で発生する規格外品を、□□フードバンクに寄付し、食品ロス削減に取り組んでいる。
- ◆ 二酸化炭素等の吸収源であり、水源でもある森林を整備するとともに、次世代を担う地元の小学生等を対象とした環境講座を年2回開催している。
- ◆ 小学校の学校給食の食品残渣を校内で収集し堆肥化し校内の花壇、畑の肥料として還元し、収穫物を学校給食として利用することによりリサイクルループを体感する啓蒙活動を行っている。

※食品産業以外による応募の場合は、導入事例をできるだけ具体的に記載してください。

2. 先進性・独自性(他の取組には見られない先進的な特徴や独自の等方法)

※ 客観的な事実として示せる場合は、出典及びデータ(学会発表、特許出願、等)を示してください。

- ◆ 調査結果による場合は出典、調査対象の属性、調査期間、調査対象数等の概要を記載してください。
- ◆ 客観的な事実が示せない場合は、どのような点がどのような理由で先進性・独自性があるかを記載してください。
- ◆ 試験研究段階の取組については、期待される効果や発展性について可能な限り詳細に記載してください。

※本申込書に記載が困難な場合は別葉にてお示しください。

【記載例】

- ◆ ●●大学との協力により開発した▲▲技術については、平成■■年に特許権を取得済み。
- ◆ ●●大学との協力により開発した▲▲技術については、平成■■年の△△学会で発表。
- ◆ 先進性については、●●論文データベースを利用した文献調査により確認。

3. 地域性(活動範囲の広さ、他社との連携、地域に密着した取組であるか等)

※ 活動による効果が及ぼす範囲を具体的に記載してください。

(例:社内、○○市、○○県、関東地区等)

- ◆ 地元原料の使用の有無。
- ◆ 地域の課題解決への貢献度。
- ◆ 同業他社等と連携している場合は単なる協力体制の事実のみを記載するのではなく相乗効果も併せて記載してください。

【記載例】

- ◆ ●●県下の食品製造業、食品卸売業、食品小売業から出る食品廃棄物を利用してエコフィードを製造しており、●●県下で唯一のエコフィード認証を取得。●●県立▲▲総合研究所や●●県立▲▲大学等と連携した地域密着型の取り組みである。

4. 継続性(取組の開始時期、活動年数、継続できる取組であるか等)

※ 事業継続期間を定量的に記載してください。

【記載例】

- ◆ 令和2年4月から取組を開始し、令和4年に○○まで規模が広がり、令和6年現在では……

5. 経済性(取組を実施することによる経済効果等)

※ 収益性の向上(費用と収益の関係)を定量的に記載してください。

【記載事項】

- ◆ 新規需要による売上金額等について定量的に記載ください
- ◆ 具体的に表せる場合は
 - ① 売上増加額
 - ② 製造、廃棄物処理、労働時間短縮、物流の工夫による輸送コストの削減額(削減率)を記載してください。

6. 波及性・普及性(他の食品業者への波及効果や消費者の環境意識の醸成等)

※ 下記の例を参考に記載してください。

【記載例】

- ◆ 取組を〇〇年に開始し5年後には同業者のほぼ100%に取組が広がり、〇〇属性の廃棄物の排出量が0%になった。
- ◆ 従来、産業廃棄物として100%焼却廃棄していた〇〇を肥料化することにより新たな雇用〇〇人を生み出すことができた。
- ◆ 環境配慮型企业として認知され社会的評価の向上等による投資の増加に結びついた。

7. 地球温暖化防止・省エネルギー効果(可能な限り定量的に)

【記載事項】

- ◆ 設備更新、燃料転換等によるCO2等の温室効果ガス削減量
- ◆ 設備更新、燃料転換等による電気代、ガス代等の削減額
- ◆ 社員の省エネ意識の向上 等

8. 過去の受賞実績及び令和7年度中に申請した(今後申請する)表彰名

※ 過去に「食品産業もったいない大賞」で受賞された場合は、回数及び賞名を記載してください。

【記載例】

- ◆ 第6回食品産業もったいない大賞(主催〇〇〇〇) 審査委員長賞受賞

※各記入欄は調整(概ね2枚(1~8)程度)しご記入下さい。